

# ビジネスネットワークとの集中購買発注統合 **CSC-30232**

一般提供予定：2024年8月



## 機能概要

# 導入: Business Network CSC-30232 との集中購買発注統合

## 機能の説明

集中調達向け SAP S/4HANA と SAP Business Network を簡単に統合できます。

## 主な利点

一元管理された購買発注をネットワーク上のサプライヤと電子的に交換することで、集中購買を自動化します。

購買発注の出力を、接続されたサテライトシステムまたは調達ハブによって管理するかどうかを自由に定義します。

ネットワーク上のサプライヤからセントラルシステムにオーダー確認を自動的に受信します。

オーディエンス:

発注者およびサプライヤ

イネーブルメントモデル:

サポート依頼

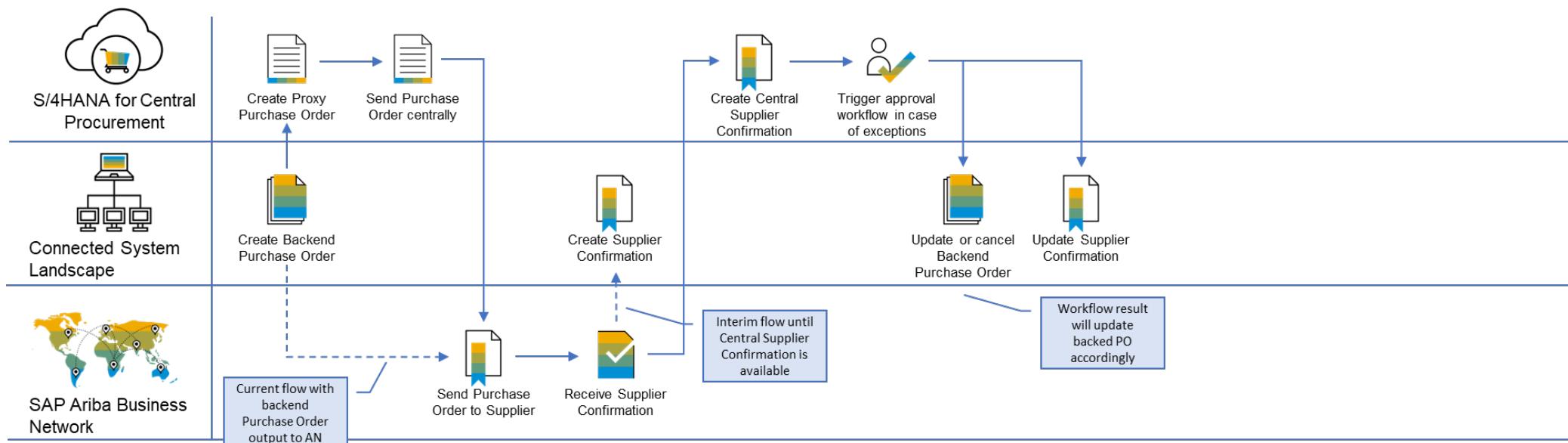
対象ソリューション:

Procurement 向け SAP Business Network

# Business Network CSC-30232 との集中購買発注統合

説明: 集中管理された購買発注をネットワーク上のサプライヤと電子的に交換することで、集中購買を自動化します。

- バイヤーの新しいエンタイトルメント: 集中調達向け SAP S/4HANA との統合を許可する

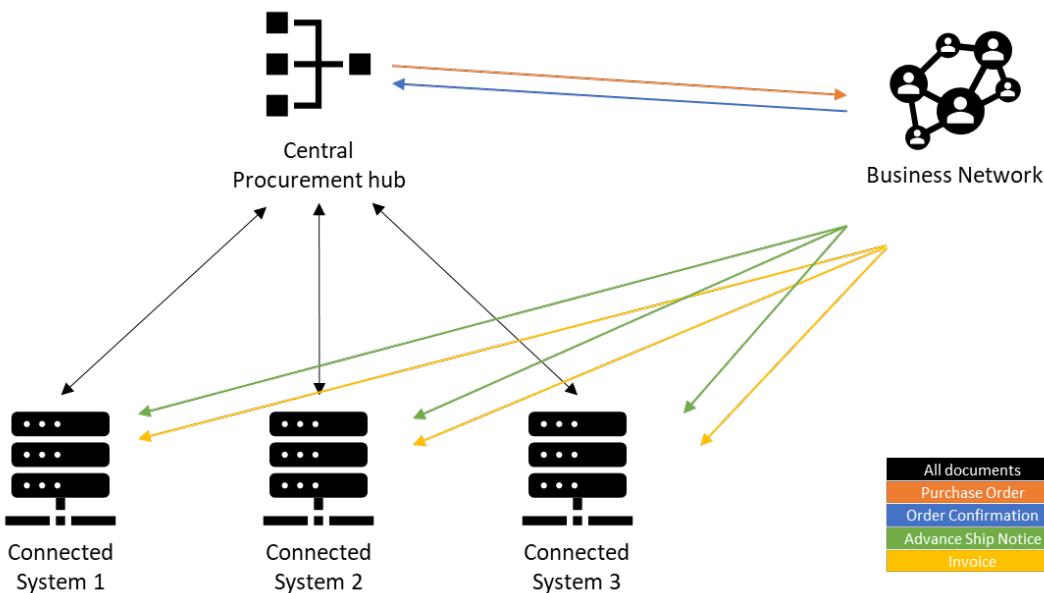


バイヤーアカウント  
ブライヤアカウント

サ  
5

# Business Network CSC-30232 との集中購買発注統合

- CIG では、cXML SystemID として PO オリジネーション SenderBusinessSystemID が使用され、CP HubSystemID が認証情報からの cXML HubSystemID ヘッダーに S4CORE-CentralProcurement として UserAgent を含める
- SBN は、資格付与および注文書ドキュメントに基づいて OC cXML の [To Header] セクションで HubSystemID を送信するように変換するため、CIG は OC の配送が必要な場所を認識します。このステップは、UI/統合フローの両方で実行されます。



SystemID	=LogicalSystemForConnectedSystem	ヘッダ	バックエンド論理システム
HubSystemID	= SenderBusinessSystem	ヘッダ	HUB 論理システム

```
<Header>
  <Sender>
    <Credential domain="AribaNetworkUserId">
      <Identity>csc30232buy@ariba.com</Identity>
      <SharedSecret>welcome</SharedSecret>
    </Credential>
    <UserAgent>S4CORE-CentralProcurement</UserAgent>
  </Sender>
</Header>
```

# 前提条件、制限事項、注意事項

## 前提条件

- 有効化するエンタイトルメント

## 制限

- スコープは購買発注および購買発注確認に制限されており、その他のフォローアップ伝票は 42K などの他の利用可能なスコープアイテムに含まれている必要があります。



ありがとうございました。

フォローをお願いします。



[www.sap.com/contactsap](http://www.sap.com/contactsap)

© 2024 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も SAP SE または SAP 関連会社の明示的許可なしに、いかなる形式、目的を問わず、複写、または送信することを禁じます。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE およびその頒布業者が販売するソフトウェア製品には、他のソフトウェア会社が所有権を有するソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は SAP SE または SAP 関連会社が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAP またはその関連会社は文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP または SAP 関連会社の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE またはその関連会社は、本書または関連文書に概説された事業の実現、またはそこに記載されたいかなる機能の開発またはリリースに対する義務も負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により隨時、予告なしに変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する詳細な情報や通知に関しては、[www.sap.com/trademark](http://www.sap.com/trademark) をご覧ください。